

読書ナビゲーター ～民話のひみつをさぐる～

[三年とうげ (光村図書)]

第3学年 2名 指導者 左柄 洋子

本単元で育成する資質・能力 論理的思考力 表現力 他者理解・他者との協働

単元について

本単元は、学習指導要領「C読むこと」の「ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基にして想像して読むこと。」「オ 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気づくこと。」を受けて設定したものである。

本教材は、朝鮮半島に伝わる民話である。全体に流れるリズムやテンポのよさは、語り継がれた民話や昔話の特徴を伝えている。起承転結の構成になっていることや挿絵と場面が連動して場面の組み立てが分かりやすいこと、言い伝えの歌の捉え方（「三年しか生きられぬ」「三年生きられる」）によりおじいさんの気持ちの変化していく展開などで、分かりやすくおもしろく読める教材である。民話や昔話の特徴的な組み立てやおもしろさを理解することができるとともに、着目する叙述や読み手の経験により感じ方に違いがあることに気づくことができる教材である。

児童の実態

2名の児童は、読書タイムには自分の好みの本を選び、集中して読むことができる。しかし、読書量や読む本のジャンルにおいては、児童によって偏りがある。

また1学期の物語の読み取りのテスト結果は、
「きつつきの商売」・・・97.5
「もうすぐ雨に」・・・86.3

「物語を読み取ろう (活用)」・・・90.0
であり、概ね物語の内容を読み取っている。しかし、授業では、文の前後関係を考えないで自分の経験だけで捉えたり、ストーリー性よりも表面的な言葉のおもしろさに着目したりする等、浅い読みで終わってしまうことがあり、叙述を基に場面の様子や登場人物の性格、心情を読み取ることができているとは言えない。

指導にあたって

指導にあたっては、活動目標を「読書ナビゲーター ～民話のひみつをさぐる～」と設定し、民話のおもしろさを紹介するコーナーを作る。そのために、「三年とうげ」をもとに、設定した「ナゾ」を解きながら民話や昔話の特徴的な組み立て、話のおもしろさを理解する。そして、自分たちが見つけた民話や昔話のおもしろさ（ひみつ）を紹介することで、全校に民話や昔話のおもしろさを味わってもらったり、読書の幅を広げてもらったりしたいという目的を持たせる。

第一次では、いつも読み聞かせなどでお世話になっている読書ボランティアの方などに、自分たちの読書活動の様子を知ってもらうとともに全校に読書を広めるために、ナビゲーターとしてのコーナーをつくるというめあてを捉えさせ、読書（民話や昔話）のおもしろさを広く紹介していきたいという意欲を持たせる。

第二次では、「三年とうげ」の場面の移り変わりやおじいさんの気持ちの変化などを叙述を基に読み、設定した「ナゾ」を解決する。言葉の意味を理解することと叙述を正確に読むことを大切にしながら学習する。また、民話や昔話に共通する特徴的な組み立てや話のおもしろさをとらえさせ、紹介文でおもしろさとその理由を説明するとき、それらを活用することができるようにする。

第三次では、並行読書をしている民話や昔話の中から、みんなに紹介したい本を選び紹介文を書く。

単元の目標

- 民話や昔話のおもしろさを見つけながら、進んで読書をし、本の紹介をすることができる。【関心・意欲・態度】
- 場面の移り変わりや登場人物の気持ちを想像しながら読み、民話や昔話のおもしろさを味わうことができる。【読むこと ウ】
- 民話や昔話を読んで感想を交流し合い、感じ方の違いに気づくことができる。【読むこと オ】
- 文章中で使われている言葉の工夫に着目し、表現するための語句を増やすことができる。【言語事項 イ (オ)】

単元でつける力

- 場面の様子や登場人物の気持ちの変化について叙述を基に想像しながら読み、民話や昔話のおもしろさを見つけることができる力。
- 友達との交流を通して、感じ方には違いがあることに気づいたり新たなおもしろさに気づいたりする力。

そのための言語活動

民話や昔話の特徴に着目しながら、おもしろさや感想を交流し合う。また、場面の展開や叙述など根拠を挙げながら紹介文を書き、民話や昔話を紹介するコーナーをつくる。

評価規準

教科 【国語科】			育成しようとする 資質・能力
関心・意欲・態度	読む力 (★論理的思考力)	言語についての 知識・理解・技能	
民話や昔話のおもしろさを見つけながら、進んで読書をし、本の紹介をしようとしている。	★民話や昔話の特徴に着目したり、場面の様子や登場人物の気持ちの変化について叙述を基に想像したりしながら読み、民話や昔話のおもしろさを見つけている。 起承転結の構成や物語の叙述を活用して、紹介文を書いている。	文章中で使われている言葉の工夫に着目し、表現するための語句を増やそうとしている。	【論理的思考力】 言葉を理解し、場面の様子や叙述を基に情景や登場人物の性格や気持ちの変化を想像しながら読んでいる。 【表現力】 根拠を明らかにして、民話や昔話のおもしろさを紹介する文章を書いている。 【他者理解・他者との協働】 同じ作品を読んでも一人一人の感じ方に違いがあることに気づき、その良さを認め、協力して読書コーナーを作ろうとしている。

本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

【論理的思考力】

民話や昔話は、起承転結という特徴的な組み立てでできており、場面の移り変わりによってストーリーが動き、おもしろさが生まれる。そこで、場面の移り変わりを意識しながら、登場人物の心情を捉え、叙述を根拠として話のおもしろさを交流する。さらに、民話や昔話の特徴的な組み立てである起承転結の構成の学習を活かし、他の民話や昔話でも物語の構成を意識しながらその物語のよさやおもしろさを見つけ紹介する。これらの学習活動を通して論理的思考力を育成する。

【表現力】

物語のどこがおもしろいのかを的確に伝えるためには、おもしろさの訳を説明することが必要である。その訳を説明するのにふさわしい文や言葉を物語の中で探したり、どこまで引用するかを考えたりにして、伝えたいことをしっかりと伝えていく表現力をつける。

【他者理解・他者との協働】

同じ作品を読んでも、好きな場面やおもしろさを感じる表現や場面はそれぞれ違いがある。その理由をおもしろかった部分を引用させたり、ふさわしい文や言葉を探させたりして説明させ交流することで、友達の感想や紹介文のよさを感じ取らせる。お互いの感じ方を認め合い、協力して読書コーナーをつくることのできる力をつける。

研究仮説にかかわって

【思考の「見える」化】

児童の思考を「見える」化するために、ノートを使い方を工夫する。まず、家庭学習の音読時に、場面の様子やおじいさんの様子、気持ちなどがわかる場所に線を引かせ、わったことや考えたことを書き込んでいくようにする。そして、場面ごとに見開き1ページにしたノートに、家庭学習で線を引いたり書き込んだりしたことや物語の「ナゾ」を解決するために読み取ったことの根拠となる叙述、自分の考えを書く。話し合いで深まった考えも書き加えていく。

【相手や目的等の「意識」化】

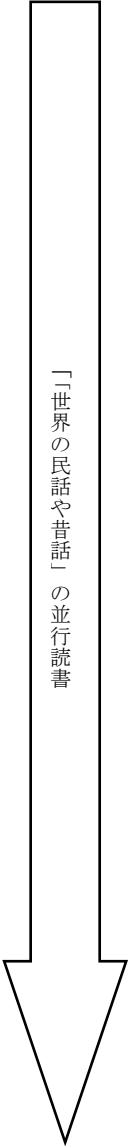
本単元では、言語活動を図書室に「読書ナビゲーター ～民話のひみつをさぐるう～」コーナーを設けることに設定している。相手は、日頃、読み聞かせや読書活動などでお世話になっているボランティアの「あごは」の会の方や学校図書館司書の先生、そして全校児童である。読み聞かせをしたくだけるお礼を込めて自分たちの読書活動の様子を紹介すること、また全校に読書の楽しさを知ってもらい読書の幅を広げる機会になることを目的としている。

「意識」化させるために、図書委員会が掲示しているポスターや学校図書館司書の先生のポップや紹介文などを観察させたり、図書室のどこに自分たちの読書ナビゲーターのコーナーを置いたらよいかなどを考えさせたりする。

指導計画 (全6時間)

次	時	学習活動	評価			
			関	読	言	評価規準 (評価方法)
一	1	課題の設定 民話に関心を持ち、学習課題「読書ナビゲーター ～民話のひみつをさぐろう～」を設定し、学習計画を立てる。	○			いろいろな民話や昔話があることを知り、学習課題から学習の見通しを持ち、学習計画を立てている。(ノート・発言)
	2	情報の収集 民話「三年とうげ」を読み、物語の設定と展開を確かめ、「ナゾ」を整理する。		○		本文を読んで、物語の大体をとらえ、物語の「ナゾ」を見つけている。(ノート)
二	3	情報の収集 整理・分析 「ナゾ」①(言い伝えの影響)について話し合い、解決する。		◎	○	物語の「ナゾ」について、叙述をもとに考え、答えを見つけている。(ノート・発言)
	4	情報の収集 整理・分析 「ナゾ」②(逆転の発想)について話し合い、解決する。		◎	○	物語の「ナゾ」について、叙述をもとに考え、答えを見つけている。(ノート・発言)
	5	情報の収集 整理・分析 (本時) トルトリの人物像や話のおもしろさについて話し合い、ノートにまとめる。		◎	○	トルトリの人柄や話のおもしろさについて、理由とともに説明している。(ノート・発言) 話のおもしろさを本文の叙述を用いながらまとめている。(ノート)
三	6	まとめ・創造・表現 紹介したい民話や昔話を選び、紹介文を書く。		◎	○	民話や昔話のおもしろさを味わいながら読み、それが伝わるように紹介文を書いている。(紹介文・発言)
		実行・振り返り	図書室に「読書ナビゲーターコーナー」を作り、本を紹介する。			

「世界の民話や昔話」の並行読書



読書ナビゲーター ～物語の世界へようこそ～

[プラタナスの木 (光村図書)]

第4学年 3名 指導者 左柄 洋子

本単元で育成する資質・能力 論理的思考力 表現力 他者理解・他者との協働

単元について

本単元は、学習指導要領「C読むこと」の「ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基にして想像して読むこと。」「エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章を引用したり要約したりすること」「オ 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気づくこと。」を受けて設定したものである。

本教材は、小学4年生が登場人物の作品である。いつも遊んでいる公園で出会ったおじいさんの話とプラタナスの木がなくなったことによって、自然に対する思いや考えが変化し、成長する物語である。中心人物の会話文が一つもないが、登場人物が等身大であることから作品に感情移入しやすいと考える。また、心情を表す表現も多く出てくる。心情を読み取る際に、根拠として挙げられるものが多いので、物語をより深く読み進めることができる

児童の実態

3名の児童は、文章が短かったり、挿絵がたくさんあったりする本を好む傾向があり、話の内容がおもしろくて本を読むということが多くない。

また、1学期の物語の読み取りのテストの結果は、

「白いぼうし」・・・89. 2

「一つの花」・・・81. 7

「物語を読み取ろう (活用)」・・・66. 7であった。場面の様子や登場人物の心情を表している表現を見つけることができていたが、その叙述から情景や人柄、気持ちなどを想像することが十分にはできていない。

指導にあたって

指導にあたっては、活動目標を「読書ナビゲーター ～物語の世界へようこそ～」と設定し、物語を読んで心に残ったことを感想文に書いて紹介するコーナーを作る。そのために、「プラタナスの木」の叙述を基に、情景の変化や人物の気持ちの変化を読み取る。コーナーを見た人が読んでみたいと思えるように、本文を引用したり要約したりして心に残ったことを感想文に書くという目的を意識させる。

第一次では、これまでに読んできた物語について感想を述べ合い、同じ場面が心に残る場合や異なる場面が心に残る場合があることに気づかせる。そして、学級内だけでなく全校に読書の楽しさやよさを知ってもらえるように、読書コーナーで感想文を紹介するという目的意識を持たせる。

第二次では、場面と場面の関係や登場人物のプラタナスの木に対する思いの変化等を考えながら読み、物語のおもしろさや心に残る場面を見つける。また、友達がどのような叙述に着目してどのような感じ方をしているか、どの場面にどのような疑問を持っているかを見つけられる活動を通して、心に残った場面やその場面についての感想を明確にしていく。

第三次では、「プラタナスの木」と並行読書をしている物語の中からみんなに紹介したい本の感想文を書く。

単元の目標

- 自分の体験と重ね合わせながら進んで物語を読み、感想を書くことができる。【関心・意欲・態度】
- 場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化をとらえることができる。【読むこと ウ】
- 心に残ったことを伝えるため、本文を引用したり要約したりして感想を書くことができる。【読むこと エ】
- 物語を読んだ感想を交流し、一人一人の感じ方の違いを理解することができる。【読むこと オ】
- 情景を表す言葉や表現を見つけることができる。【言語事項 イ (ア)】

単元でつける力

- 場面の様子や登場人物の気持ちの変化について叙述を基に想像しながら読み、心に残ったことを伝えるために、本文を引用したり要約したりして感想を書く力。
- 友達との交流を通して、一人一人の感じ方の違いを理解する力。

そのための言語活動

どんなところに気をつけて物語を読み、どんな感想を持ったかを交流し合う。また、心に残ったことを伝えるために、本文を引用したり要約したりして感想を書き、読書コーナーをつくる。

評価規準

教科 【国語科】		育成しようとする 資質・能力
関心・意欲・態度	読む力 (★論理的思考力)	
自分の体験と重ね合わせながら物語を読み、感想を伝えようとしている。	★場面の様子や登場人物の気持ちの変化について叙述を基に想像しながら読み、心に残った場面や物語のおもしろさを見つけている。 心に残ったことを伝えるために、本文を引用したり要約したりして感想を書いている。	<p>言語についての知識・理解・技能</p> <p>情景を表す言葉や表現を見つけている。 言葉には、心情と景色を同時に表現しているものがあることを理解している。</p> <p>【論理的思考力】 言葉を理解し、場面の様子や叙述を基に情景や登場人物の性格や気持ちの変化を想像しながら読んでいる。</p> <p>【表現力】 根拠を明らかにして、心に残ったことを伝える感想を書いている。</p> <p>【他者理解・他者との協働】 同じ作品を読んでも一人一人の感じ方に違いがあることを理解し、そのよさを認め、協力して読書コーナーを作ろうとしている。</p>

本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

【論理的思考力】

小学4年生が登場人物の作品である。公園で出会ったおじいさんの話とプラタナスの木がなくなったことによって、自然に対する思いや考えが変化し、成長する物語である。中心人物の会話文が一つもないが、心情を表す表現が多く出てくる。心情を読み取る際に、根拠として挙げながら心に残ったこと場面を紹介する。これらの学習活動を通して論理的思考力を育成する。

【表現力】

物語を読んで心に残ったことを的確に伝えるためには、どこからそのように感じたのか根拠を示すことが必要である。その訳を説明するのにふさわしい文や言葉を物語の中で探したり、どこまで引用するかを考えたりして、伝えたいことをしっかりと伝えていく表現力をつける。

【他者理解・他者との協働】

同じ作品を読んでも、好きな場面や心に残った表現や場面はそれぞれ違いがある。その理由をそう思った部分を引用させたり、ふさわしい文や言葉を探させたりして説明させ交流することで、友達の感想や感想文のよさを感じ取らせる。お互いの感じ方を認め合い、協力して読書コーナーをつくることのできる力をつける。

研究仮説にかかわって

【思考の「見える」化】

児童の思考を「見える」化するために、ノートの使い方を工夫する。まず、家庭学習の音読時に、場面の様子や登場人物の様子、気持ちなどがわかる場所に線を引かせ、わかったことや考えたことを書き込んでいくようにする。そして、場面ごとに見開き1ページにしたノートに、家庭学習で線を引いたり書き込んだりしたことや物語の「ナゾ」を解決するために読み取ったことの根拠となる叙述、自分の考えを書く。話し合いで深まった考えも書き加えていく。

【相手や目的等の「意識」化】

本単元では、言語活動を図書室に「読書ナビゲーター ～物語の世界へようこそ～」コーナーを設けることに設定している。相手は、日頃、読み聞かせや読書活動などでお世話になっているボランティアの「あごは」の会の方や学校図書館司書の先生、そして全校児童である。読み聞かせのお礼を込めて自分たちの読書活動の様子を紹介すること、また友達には、読書の楽しさを知ってもらい読書の幅を広げる機会になることをねらいとしている。

「意識」化させるために、学習の手引や感想文のコンクールに入賞した作品などを活用し、伝えたいことを伝えられる文章や相手を引きつける文章の書き方について考えさせたり、図書室のどこに自分たちの読書ナビゲーターのコーナーを置いたらよいかなどを考えさせたりする。

指導計画 (全8時間)

次	時	学習活動	評価			
			関	読	言	評価規準 (評価方法)
一	1	課題の設定 これまでに読んできた物語について感想を述べ合い、学習課題「読書ナビゲーター ～物語の世界へようこそ～」を設定し、学習計画を立てる。	○			同じ本を読んでも心に残る場面は同じこともあれば違うこともあることを理解し、学習課題から学習の見通しを持ち、学習計画を立てている。 (ノート・発言)
	2	情報の収集 物語「プラタナスの木」を読み、物語の設定と展開を確かめ、「ナゾ」を整理する。		○		本文を読んで、物語の大体をとらえ、物語の「ナゾ」を見つけている。 (ノート)
二	3	情報の収集 整理・分析 「ナゾ」①(木が逆立ちの話)について話し合い、解決する。		◎	○	物語の「ナゾ」について、叙述をもとに考え、答えを見つけている。 (ノート・発言)
	4	情報の収集 整理・分析 「ナゾ」②(みんな「木」によろしく)について話し合い、解決する。		◎	○	物語の「ナゾ」について、叙述をもとに考え、答えを見つけている。 (ノート・発言)
	5	情報の収集 整理・分析 「ナゾ」③(プラタナスが切られてショックを受けているみんな)について話し合い、解決する。		◎	○	物語の「ナゾ」について、叙述をもとに考え、答えを見つけている。 (ノート・発言)
	6	情報の収集 整理・分析 (本時) 「ナゾ」④(切り株に乗ったマーちゃんたち)について話し合い、解決する。		◎	○	物語の「ナゾ」について、叙述をもとに考え、答えを見つけている。 (ノート・発言)
三	7	まとめ・創造・表現		◎	○	本を読んで心に残ったことや感じたことを伝えるために、「初め・中・終わり」の構成、必要に応じて本文を引用したり要約したりしながら、感想文を書いている。 (感想文・発言)
	8	心に残ったことや感じたことなど感想を書く。				
		実行・振り返り	図書室に「読書ナビゲーターコーナー」を作り、本を紹介する。			

「フアンタジの世界」の並行読書



本時の学習

【3学年 本時の目標】

- 登場人物の言動や気持ちを表す表現を見つけ、トルトリの人柄や話のおもしろさについて考え説明することができる。

【準備物】

掲示用の教材文 挿絵

【4学年 本時の目標】

- 物語の叙述を基に、誰がどう変わったのか、何によって変わったのかを考えることができる。

【準備物】

掲示用の教材文 挿絵

○評価規準【教科】 (評価方法) ★望ましい姿【資質・能力】	指導上の留意点	学習活動		学習活動	指導上の留意点	○評価規準【教科】 (評価方法) ★望ましい姿【資質・能力】
<p>○読む (論理的思考力) 叙述を基に、トルトリの人柄を読み取ったり、話のおもしろさ(逆転の発想)を読み取ったりしている。(ノート 発言)</p> <p>★表現力 話のおもしろさを本文の叙述を用いながらまとめている。(ノート)</p> <p>★他者理解・他者との協働 自分がおもしろいと思ったおもしろいところと友達がおもしろいと思ったところが同じだったり、違っていたりすることに気づいている。(発言 ノート)</p>	<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>民話「三年とうげ」には、どんなおもしろさがあるのかな。</p> <p>2 物語の「ナゾ」を解き、トルトリの人柄を考える。</p> <p>おじいさんが元気になるきっかけをつくったトルトリは、どんな人なのでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医者やおばあさん、ほかの村の人たちの看病や見舞いではよくならなかったおじいさんが、トルトリの言葉に反応した場面に着目させ、ほかの人たちとトルトリの物事の考え方の違いについても考えさせる。 ・ そう思った根拠となる叙述もノートにまとめさせる。 <p>3 民話の話のおもしろさを考える。</p> <p>「三年とうげ」を読んで、どんなところがおもしろかったり、心に残ったりしましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 起承転結の組み立てで、物語がテンポよく進むおもしろさ、昔話と同じように言葉を繰り返すリズムや歌等の表現のおもしろさ、事件解決の方法のおもしろさ等、前時までの学習を想起させる。 ・ 本文の叙述を用いながらまとめさせる。 <p>4 本時の学習を振り返り次時の内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新しく知ったこと、学習の仕方、学習の活かし方について振り返る。 ・ 心に残ったことや感じたことを書く。 	<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>2 物語の「ナゾ」を解く。</p> <p>3 民話の話のおもしろさを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 優しい人。 ・ 長生きできるように歌をかえた頭の偉い人。 ・ 言い伝えを信じていない。 ・ 解決方法をいろいろと考えることができる人。 <p>4 本時の学習を振り返り次時の内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リズムが同じなのに、中身が反対になっている 2 つの歌がおもしろい。 ・ 言い伝えを信じて本当に病気になったおじいさんが、トルトリの一言で元気になったところがおもしろい。 		<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>マーちゃんたちが切りかぶの上に立ったのは、どうしてかな。</p> <p>2 物語の「ナゾ」を解く。</p> <p>マーちゃんはなぜ、プラタナスの切りかぶの上に立ってみたい気持ちになったのでしょうか。</p> <p>3 マーちゃんに今までになかった認識が新しく加わったことを考える。</p> <p>最後の4行には、マーちゃんたちのどんな気持ちや考えが表れているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 切りかぶの下にある大きな根が新しい芽に栄養を送る様子を思い描いて、わくわくしている。 ・ 変わったことやなくなったものもあるけれど、新しい生命や出会いを楽しみにしている。 ・ 新しい芽が出るまで(春まで)、自分たちが代わりになるつもりでいる。プラタナスの木を守ると決めている。 <p>4 本時の学習を振り返り次時の内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「日かげのなくなった・・・だまっているけれど・・・。」から、おじいさんの言ったことばをずっと考えているマーちゃんや、それが「みんなが木のみきや枝になったみたいだ。」や四人の表情などにつながっていることに気づかせる。 ・ おじいさんの言ったことを真剣に考え、自分たちの答えを出したマーちゃんたちについて考えさせる。 	<p>「そうしたい気持ちになったのだ。」から、切り株の上に立ちたくなったきっかけに気づかせる。</p> <p>「今でも地下に広がっている根のことを想像していたら」から、おじいさんの言ったこと「地上のみきや枝葉がなくなったら、根は・・・」を思い出させる。</p> <p>○ 読む (論理的思考力) 叙述から、今までにはなかったプラタナスの木に対する思いが強くなっていることを読み取っている。(ノート発言)</p> <p>★表現力 叙述を根拠に、読み取ったことをまとめている。(ノート)</p> <p>★他者理解・他者との協働 根拠となる叙述部分は同じでも、感じ方はそれぞれであることを理解している。(ノート 発言)</p>	